

Indications and outcomes of controlled gripper actuation system of the MitraClip G4 device

MitraClip G4 デバイスの controlled gripper actuation の適応と転帰

◆研究の目的と概要◆

マイトラクリップ (MitraClip) 治療は僧帽弁閉鎖不全症に対する唯一のカテーテル治療法です。近年治療の際使用する MitraClip G4 デバイスには controlled gripper actuation (CGA) というあらたな機能が備わっています。当院では MitraClip による経皮的僧帽弁修復術を受けた患者さんにおいて CGA を使用して処置を行ったかどうか、さらに使用の有無による安全性を明らかにすることにより、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2020年9月から2023年7月までの間に MitraClip による僧帽弁逆流症の治療を受けた患者さん

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長、体重、それまでに罹患されたご病気や処方薬、術前心エコー所見（経胸壁、経食道）、MitraClip の治療内容（使用したクリップの種類、位置、手技時間、弁関連の合併症、手技中、手技後のエコー所見）、術後退院前の心エコー所見、退院後半年以内の心エコー所見や自覚症状

◆情報の研究利用開始日◆

2023年10月10日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録の記録を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

循環器内科 研究責任者 西浦 直紀

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明